

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三菱ケミカルグループ株式会社（証券コード: 4188）

【据置】

長期発行体格付	A +
格付の見通し	安定的
債券格付	A +
発行登録債予備格付	A +

■格付事由

- (1) 国内最大の総合化学グループの持株会社。完全子会社の三菱ケミカルがスペシャリティマテリアルズ、MMA & デリバティブズ、ベーシックマテリアルズ & ポリマーズ（以上、ケミカルズ事業）を展開するほか、日本酸素ホールディングス（当社 50.6% 出資）が産業ガスを手掛ける。持株会社によるガバナンス状況などを踏まえ、当社の格付にはグループ全体の信用力を反映させている。なお従前、ファーマを担っていた田辺三菱製薬は、25 年 7 月に米投資ファンドのペインキャピタルに譲渡（譲渡対価：約 5,100 億円）された。
- (2) ケミカルズ事業は広範な領域で事業を展開し、多様な技術プラットフォームを有することが強みである。ただ、素材ビジネスが構造改革の途上にある点を含め、同事業全体の収益性はなお改善の余地がある。一方で、規律ある事業運営の徹底で、コスト構造改革や事業ポートフォリオの見直しなどが進んできている。田辺三菱製薬の譲渡で同社による利益貢献は無くなったが、産業ガスは高いプレゼンスを背景に安定して利益を確保しており、グループ業績を下支えしている。種々の取り組みにより、中期的に業績のボラティリティ抑制と利益成長が進むと考えられる。成長投資案件は少なくないものの、引き続き、財務リスクは適切にコントロールされよう。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 26/3 期会社計画ではコア営業利益 2,500 億円（前期比 9.2% 増、ファーマ除き）を予想する。ケミカルズ事業が全体で増益となることが業績を押し上げる。同事業では、MMA & デリバティブズは MMA モノマーの市況下落などで赤字に転落するが、スペシャリティマテリアルズは主要製品の売買取引改善やコスト削減効果などで増益に、ベーシックマテリアルズ & ポリマーズは炭素の構造改革効果などで赤字幅が縮小することがプラス要因となる。ただ、同期計画でもケミカルズ事業のグループ全体のコア営業利益に占める割合は 20% 台半ばにとどまる。スペシャリティマテリアルズは着実に収益力の強化が進んできているが、成長戦略の加速や一段の効率化などが不可欠と考えられる。
- (4) 財務構成は改善が進んできている。田辺三菱製薬を含めた事業の売却などを背景にネット有利子負債の削減が進んできており、26/3 期第 2 四半期末のネット DER は 0.8 倍（25/3 期末 1.1 倍）に低下している。現状、親会社の所有者に帰属する持分は 1.8 兆円の規模があり、業績変動や投資負担に対し、相応のリスク耐久力がある。引き続き、食品包装材をはじめとする成長ドライバーを中心に積極的な成長投資の実施が予想されるが、財務基盤の健全性確保の方針は堅持されており、ネット DER 0.8 倍以下が目標として設定されている。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

■格付対象

発行体：三菱ケミカルグループ株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
三菱ケミカルホールディングス第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 6 月 9 日	2026 年 6 月 9 日	0.320%	A+
三菱ケミカルホールディングス第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2016 年 6 月 9 日	2036 年 6 月 9 日	0.850%	A+
三菱ケミカルホールディングス第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2018 年 2 月 27 日	2028 年 2 月 25 日	0.370%	A+
三菱ケミカルホールディングス第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2018 年 2 月 27 日	2038 年 2 月 26 日	0.890%	A+
三菱ケミカルホールディングス第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120 億円	2018 年 12 月 19 日	2028 年 12 月 19 日	0.420%	A+
三菱ケミカルホールディングス第27回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80 億円	2018 年 12 月 19 日	2038 年 12 月 17 日	1.000%	A+
三菱ケミカルホールディングス第28回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2018 年 12 月 19 日	2048 年 12 月 18 日	1.388%	A+
三菱ケミカルホールディングス第29回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2019 年 5 月 30 日	2029 年 5 月 30 日	0.330%	A+
三菱ケミカルホールディングス第30回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	120 億円	2019 年 5 月 30 日	2039 年 5 月 30 日	0.830%	A+
三菱ケミカルホールディングス第31回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80 億円	2019 年 5 月 30 日	2049 年 5 月 28 日	1.214%	A+
三菱ケミカルホールディングス第32回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2020 年 2 月 28 日	2027 年 2 月 26 日	0.230%	A+
三菱ケミカルホールディングス第33回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2020 年 2 月 28 日	2030 年 2 月 28 日	0.280%	A+
三菱ケミカルホールディングス第34回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2020 年 2 月 28 日	2040 年 2 月 28 日	0.690%	A+
三菱ケミカルホールディングス第36回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2020 年 6 月 11 日	2030 年 6 月 11 日	0.400%	A+
三菱ケミカルホールディングス第37回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 6 月 11 日	2040 年 6 月 11 日	0.830%	A+
三菱ケミカルホールディングス第38回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 11 月 27 日	2030 年 11 月 27 日	0.360%	A+
三菱ケミカルホールディングス第39回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2020 年 11 月 27 日	2040 年 11 月 27 日	0.770%	A+
三菱ケミカルホールディングス第40回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2021 年 6 月 3 日	2026 年 6 月 3 日	0.090%	A+
三菱ケミカルホールディングス第41回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2021 年 6 月 3 日	2031 年 6 月 3 日	0.330%	A+
三菱ケミカルホールディングス第42回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2021 年 6 月 3 日	2041 年 6 月 3 日	0.740%	A+
三菱ケミカルホールディングス第43回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	170 億円	2022 年 6 月 9 日	2032 年 6 月 9 日	0.659%	A+
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2023 年 3 月 15 日	2028 年 3 月 15 日	0.579%	A+
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	180 億円	2023 年 3 月 15 日	2033 年 3 月 15 日	1.180%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2023年12月5日	2028年12月5日	0.758%	A+

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	4,000億円	2024年9月8日から2年間	A+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2026年1月27日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：殿村 成信
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「化学」（2022年6月15日）、「持株会社の格付方法」（2025年4月2日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 三菱ケミカルグループ株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・境界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル